

庄内町立立川小学校

施設概要

事業主体：庄内町

施設名称：庄内町立立川小学校

所在地：庄内町狩川字松葉 5 番地 1

用途：小学校



《集会室》

●施設の特徴、内容

庄内町立立川小学校は、平成 21 年 4 月の学区再編により立谷沢小学校、清川小学校、狩川小学校が統合し新設するのに昭和 49 年建築の旧狩川小学校校舎を大規模改造しその際に内装木質化を行った学校である。耐震補強及び大規模改造し使用するにあたり、新設統合する校舎の内装に多くの木材を使用し温もりのある校舎とすることを目指した。



《体育館》



《図書室》

■建物情報

階数：地上 3 階

構造：校舎：RC 造、体育館：S 造

敷地面積：27,339 m²

延床面積：4,050 m²

各階床面積：校舎 2,380 m²

管理棟 684 m²

屋内運動場 826 m²

渡り廊下 160 m²

最高軒高：13.2 m

最高高さ：13.2 m

耐火・準耐火：耐火建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根)：耐摩カラーGL鋼板縦はげ葺き t0.4 mm

(外壁)：吹付けタイル

一部杉化粧羽目板張り

内部仕上

(床)：フローリング張り t15 mm

(壁)：ラワン合板下地、ビニルクロス

化粧杉羽目板 t15 mm張り

(天井)：LGS 下地 化粧石膏ボード張り



《廊下》



《教室》

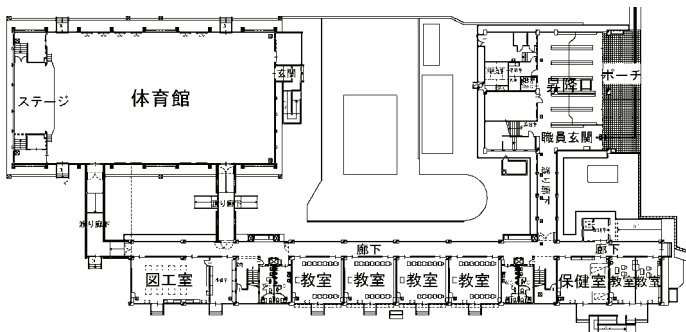
《使用木材》



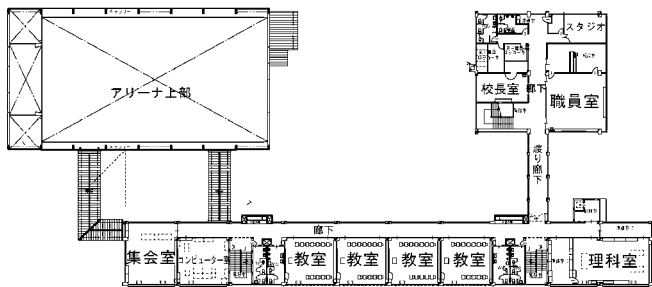
杉 44.9 m²、その他 25.1 m²
計 70.0 m²【県産木材 69.93 m²】

●木材使用に関する工夫点

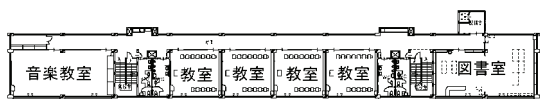
山林を多く抱える庄内町は、林業振興が課題であり、内装木質化は町の課題への取組でもあった。廊下や教室のフローリングや腰壁に杉板を使用し、木材の温かみや風合いが利用者に伝わる豊かな空間を造ることを目指した。



1階平面図



2階平面図



3階平面図



《校長室》



《外観写真》耐震補強として鉄骨ブレースを取り付けた

●省エネ、環境負荷低減への工夫点

外壁回りに新たに断熱材、開口部のアルミサッシをペアガラスに全面改修することで、断熱性能の向上を図った。

●設計における工夫点

大規模改造にあたり多様な学習活動への対応、防犯対策、省エネ等の今日的ニーズに対する機能改善も行き、児童や保護者の不安を解消し快適な学習環境になることを目指し計画した。

■事業概要

設計者：株式会社 新徳建築設計事務所
 施工者：(建築) 株式会社 狩川佐藤組
 (電気) 庄内配電管工 株式会社、アベ電工 株式会社
 (機械) 板垣建設管工 株式会社、荘和設備工業 株式会社
 工期：平成 20 年 3 月～平成 21 年 12 月

設計費：6,804 千円
 建設費：(建築) 443,835 千円
 (電気) 43,260 千円
 (機械) 50,379 千円
 (合計) 537,474 千円